

神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会		
開催日時	令和8年7月8日（木） 15時30分～17時00分		
開催場所	本校会議室		
(役職名) 出席者	阿部 一美(本校 P T A会長)阿部 裕爾(能見台一丁目自治会長) 柏木 雅彦(金沢支援学校長) 金子 光則(氷取沢町内会長・上笹下地区連合自治会長) 川出 道紀(関東学院大学 事務局次長) 末松 隆一郎(横浜市立さわの里小学校長) 根本 ゆう子(横浜市上笹下地域ケアプラザ所長) 高橋 美穂(神奈川大学学長室次長) 唐川 和彦(横浜氷取沢高等学校長)		
次回開催予定日	令和8年12月9日(予定)		
問合せ先	神奈川県立横浜氷取沢高等学校 副校長 坂本 電話：045-772-0606 FAX：045-776-2468 メール y-hitorizawa-h@open-kanagawa.ed.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録 ・ 議事概要 	議事概要とした理由	
会議経過	(協議) ・令和8年度 委員委嘱並びに会長、副会長選任 会長に根本委員 副会長に唐川委員を選任 ・令和8年度学校評価報告書(目標設定)について ・令和8年度横浜氷取沢高等学校不祥事ゼロプログラム 各担当総括および副校長より概要説明 (委員からの主な質問及び意見) ・学校周辺での生徒の行動にも目を向け、指導をお願いしたい。地域行事への参加もジャズ部を始め、交流ができるとよい。 ・グローバル教育・探究活動、様々な挑戦が各項目に落とし込まれ具現化を目指している。進路実現や情報発信にも期待したい。 ・サポートドックやコア会議の活用、自転車の交通安全にも取り組んでほしい。 ・一人一台端末は大学でも検証段階で有意な活用方法を検討してほしい。 ・小学校でも時間外労働時間縮減は課題。小学校と高校生の連携も今後も継続、発展を期待している。特に小学校の地域防災拠点の訓練等にぜひ参加を。 ・海外との交流は多岐にわたり、様々な学年、生徒が参加しており、相互交流が行われていることがよくわかった。 ・コミュニケーションに課題を抱える大人も増えている。福祉の現場でも引きこもりやコミュニケーション能力の不足による課題が多い。学校での取組に期待したい。 令和8年度学校評価報告書(目標設定)について全会一致で承認。 全体会議後、学校評価部会、地域連携部会をそれぞれ開催し、意見交換を行った。		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第・レジメ ・ 令和8年度学校要覧 ・ 令和7年度学校案内 ・ 令和8年度横浜氷取沢高等学校 不祥事ゼロプログラム 		